

SDGs推進事業（一関市の取組）

1. 「SDGs日本モデル」宣言への賛同（令和元年12月24日）

(1) 目的

当市は、人口減少・超高齢化など社会的課題の解決と持続可能な地域づくりに向けて、企業・団体、学校・研究機関、住民などとの官民連携を進め、日本の「SDGsモデル」を世界に発信する「SDGs日本モデル」宣言に賛同し、SDGsの推進に取り組んでいます。

※県内自治体では、岩手県、陸前高田市、雫石町が賛同を表明済み。

※2020年2月5日現在：206自治体が賛同

(2) 「SDGs日本モデル」宣言とは

2019年1月30日に開催された「SDGs全国フォーラム」において、神奈川県を中心に全国93自治体の賛同のもと発表されました。

この宣言は、地方自治体が地方創生やSDGsの目標達成に向けて、多様な主体とのさらなる連携を通じて、社会的課題の解決を図っていくことを宣言しています。



「SDGs日本モデル」宣言

私たち自治体は、人口減少・超高齢化など社会的課題の解決と持続可能な地域づくりに向けて、企業・団体、学校・研究機関、住民などとの官民連携を進め、日本の「SDGsモデル」を世界に発信します。

- 1 SDGsを共通目標に、自治体間の連携を進めるとともに、地域における官民連携によるパートナーシップを主導し、地域に活力と豊かさを創出します。
- 2 SDGsの達成に向けて、社会的投資の拡大や革新的技術の導入など、民間ビジネスの力を積極的に活用し、地域が直面する課題解決に取り組みます。
- 3 誰もが笑顔あふれる社会に向けて、次世代との対話やジェンダー平等の実現などによって、住民が主役となるSDGsの推進を目指します。

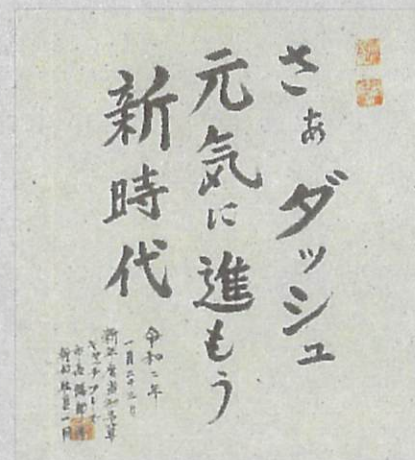
2. さあ ダッシュ 元気に進もう 新時代

2020年度予算のキャッチフレーズを

S D G s
「さあ ダッシュ 元気に進もう 新時代」とする

など、市政運営にSDGsの理念を取り入れています。

今後も当市の施策の形成過程や意思決定の際にSDGsの理念を取り入れ、事業を計画し実行していくこととしています。



3. 一関市が推進する主な取組

(1) 資源・エネルギー循環型まちづくり

平成 27 年 10 月、当市の豊かな環境を次世代に引き継ぐため、太陽光などの自然エネルギーとともに、一般廃棄物やバイオマスなどをエネルギー資源と捉え、その活用により地域内で資源やエネルギーが循環する「資源・エネルギー循環型」のまちづくりに向け、「一関市資源・エネルギー循環型まちづくりビジョン」を策定し取組を推進しています。

- ・メダルプロジェクトにつながる提案
- ・再生可能エネルギーの活用
- ・バイオマス産業都市構想の推進
- ・乾式オフィス型製紙機「ペーパーラボ」を県内初導入

(2) SDGs と一関市総合計画

新たな将来のまちづくりの指針となる一関市総合計画後期基本計画（2021 年～2025 年）に SDGs の理念を踏まえ策定しました。（各個別計画においても同様）

(3) SDGs と職員行動目標

市の行政の全ての分野、領域においても、SDGs における目標を設定するとともに、職員個人としても、日常生活において、SDGs の行動目標を掲げて取り組んでいきます。

(4) SDGs と市民・事業所

日常生活や仕事における SDGs との関わりを認識し、取り組む意義やメリットに関して理解を深め、官民連携のもとに SDGs に取り組んでいきます。

(5) 高校生による地域の課題解決

将来のまちづくりを担う高校生が、SDGs の理念を取り入れながら、地域住民と共に地域課題の解決に取り組むことで、地域愛を醸成し、若者の地元定着を図ります。

SDGs は、先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の 3 つの側面のバランスが取れた社会を目指す世界共通の目標として、2015 年 9 月に国連で採択されました。

貧困や飢餓、健康と福祉、教育やジェンダーなど、人々が人間らしく暮らしていくための社会的基盤を 2030 年までに達成するという目標になっていて、17 のゴール（目標）とそれぞれの下により具体的な 169 項目のターゲット（達成基準）があります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

